

安心・充実の旅

- 一般観光旅行とは異なるテーマや趣旨に沿った旅づくり
- 観光を短縮するような買物めぐりはしません！
- 詳しい資料やきめ細やかなご案内-安心・充実の旅
- 格安ツアーに見られる「安かろう・悪かろう」にしない「こだわり」の旅

● ご旅行条件（要約）

● 募集型企画旅行契約
この旅行は株式会社ユーラス（以下「当社」）が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加するお客様は当社と募集型企画旅行契約（以下「旅行契約」）を締結し、(株)ユーラストラベルが問合せ・申込みを受け付けます。条件は下記他、別途旅行条件書（全文）、出発前にお渡しする最終旅行日程表＝確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。

● 旅行条件・旅行代金の基準
この旅行条件は2018年5月1日を基準としています。また、この旅行代金は2018年5月1日現在の有効なものとして公示されている運賃・規則、又は2018年5月1日現在認可申請中の航空運賃・適用規則を基準として算出しています。

● 旅行契約の解除
最少催行人数に達しなかった場合、旅行を中止することがあります。この場合は、出発の23日前（ピーク時は33日前）迄にお知らせします。

● 取消料
旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除される場合は、下記の金額を取消料として申し受けます（お一人様）。

契約解除の日	取消料
旅行開始日の前日から起算して遡って40日目にあたる日以降～31日目【ピーク時】4/27～5/6,7/20～8/31,12/20～1/7に開始する旅行	旅行代金の10%

契約解除の日	取消料
旅行開始日の前日から起算して遡って30日目にあたる日以降	旅行代金の20%
旅行開始日の前々日以降	旅行代金の50%
旅行開始後の解除又は無連絡不参加	旅行代金の100%

※オプション・ツアー代金も上記取消料に準じます。
※査証（ビザ）取得実費代金、渡航手続手数料は、そのまま申し受けます。

- 旅行代金に含まれるもの（一部例示）
- ・ 航空運賃：旅程に表記した区間の個人包括旅行運賃
 - ・ 宿泊料金：2人部屋基準、税・サービス料
 - ・ 食事代：旅程に表記のもの
 - ・ 空港、駅～ホテル間の送迎車料金
 - ・ 添乗員同行の経費（同行と明示した場合）
 - ・ 鉄道運賃（旅程に明示したもの）
 - ・ 旅程に明示した市内（郊外）見学のガイド料、入場料、チップ

- 旅行代金に含まれないもの（一部例示）
- ・ 旅程以外に行動される場合の交通費、宿泊料、飲食費等
 - ・ 渡航手続費用：旅券印紙代（新規に申請される場合）
 - ・ 渡航手続手数料：出入国記録等書類作成費用、査証（ビザ）取得実費・手数料
 - ・ 超過手荷物料金：規定の重量・大きさ・個数を超える分

- ・ 個人的費用：電話、電報、FAX、クリーニング代、追加飲食費用
- ・ 一人部屋追加料金（相部屋の方がいない場合も同様）
- ・ 空港施設使用料、航空保険料および保安料
- ・ 訪問国入国税、燃油特付加運賃
- ・ 日本国内の交通費、宿泊の費用、ポーター
- ・ 任意の海外旅行傷害保険料、オプション料金

● その他（1）旅行代金はお一人分を表示しています。
（2）当社所定の申込書にお客様のローマ字氏名記入の際には、使用されるパスポートに記載されている通りにご記入ください。氏名が誤って記入された場合は、航空券の発行替え、関係する機関への氏名訂正などが必要で、この場合、当社は第15条「旅行者の交替」に準じ、交替手数料をいただきます。なお、運送・宿泊機関の事情により、氏名の訂正が認められず、旅行契約を解除いただく場合もあります。この場合には、「旅行契約後の取消」に準じて手数料をいただきます。

● 当社の募集型企画旅行にご参加いただくことにより、航空会社のマイレージを受けられる場合がありますが、同サービスに関わるお問合せ、登録等はお客自身で当該航空会社へ手続きいただけます。

● 時間帯の目安
以下の通りです。航空機、バス等の移動時刻をもとにした目安です。実際の時刻とは異なる場合がありますので、予めご了承ください。

早朝	朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜
4時	6時	8時	12時	17時	19時	23時

● 問合せ・申込先

東京都知事登録旅行業 第3-6973号 日本旅行業協会正会員 株式会社ユーラストラベル
総合旅行業取扱管理者：榊原晋治

“いい旅”育てて57年

ユーラスツアーズ

☎ 03-6453-6633

FAX 03-6453-6630 団体旅行課（滝澤・榊原・徳植）

〒108-0014 東京都港区芝5-13-18 いちご三田ビル9階

● Eメール: tokyo@euras.co.jp

● URL: http://www.euras.co.jp

● 営業日: 平日（月～金曜日）9:30～17:30 / 土・日曜日、祝日は休みです

※当パンフレット掲載の写真はすべてイメージです。

旅行
企画
実施

観光庁長官登録旅行業第1906号 日本旅行業協会正会員

株式会社タビーズ

〒108-0014 東京都港区芝5-13-18 いちご三田ビル9階

● 申込み方法

1 当パンフレットの「参加予約票」をお送りください

下記の「参加予約票」にご記入の上、旅行社宛にご連絡ください。
※お電話、メールにてのお問合せ・お申込み希望のご連絡でも受け付けいたします。※当社ホームページからでも可。「正式申込書」にご記入⇒添付してメールあるいはFAX可。

2 正式申込みに必要な書類を旅行社からご案内

「参加予約票」のご連絡後、旅行社より正式申込書と諸条件書類から旅行保険申込書等をお送りします。

※書類到着後に条件を確認いただき、正式申込書の手続きをお願いします。

3 正式申込み手続き（下記①②が旅行社に到着し正式申込み完了）

- ① 正式申込書ご記入の上、旅行社へお送りください。
- ② 申込金（旅行費用内金）50,000円を下記口座へお振込みください。

▶ 口座名義：(株)ユーラストラベル

● ゆうちょ銀行 記号番号 00180-8-265002（〇～九店）

● みずほ銀行 神谷町支店（普）口座番号：1370507

● りそな銀行 麻布支店（普）口座番号：1782149

※領収書は、銀行あるいは郵便局が発行する明細書をもって替えさせていただきます。

チェコ スロバキア 紀行

悠久の歴史と大自然、独自の伝統と中世の佇まいが織り成す異国情緒
文化が民族を育み、庶民が創り上げたヨーロッパ大陸真ん中の魅惑の2カ国

日本スロバキア
協会 会長
石川晃弘氏
が現地で
同行・解説

南モラヴィア地方と 西スロバキアの旅 9日間

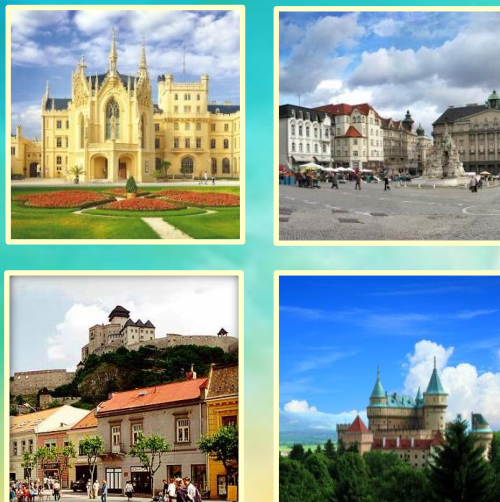


期間 2018. 8/30 (木) ▶ 9/7 (金)

費用 328,000円 (※燃油代・諸税別)

締切 7/25 (水) ※申込み先着順 発着 成田空港

- 魅力の歴史遺産、華やかな民族衣装と甘美なメロディー、豊かな自然とワインを満喫
- 独立心と平和志向、民主主義の伝統が今も息づく2国の日常生活を街並みで感じる
- ナポレオンの「アウステルリッツの戦い」の現場を見学
- ナポレオンの「アウステルリッツの戦い」の現場やモーツァルトが女帝マリア・テレジアに御前演奏した地を訪問



参加予約票 南モラヴィア地方と西スロバキアの旅

(ユーラスツアーズ宛)

①	氏名	フリガナ:	電話
			FAX
	住所		携帯 メール
②	氏名	フリガナ:	電話
			FAX
	住所		携帯 メール

● 日本スロバキア協会: 会員 未会員 ● ユーラスツアーズを利用したことが: ある ない ● 一人部屋を希望: する しない

※当「参加予約票」をお送りいただいた後、旅行社より申込みに必要な諸案内をご住所へお送りいたしますので、渡航手続きを書面に沿ってお進めください。

旅行代金・諸条件	
旅行期間	2018年8月30日(※)～9月7日(※) 9日間
旅行代金	328,000円 (※2名1室利用)
実施人数	30名様(最低実施人数10名様)
申込締切	7月25日(※) ※定員になり次第、締切ります
別途費用	燃油サーチャージ(29,150円)・諸税(10,330円) ※燃油代・諸税は航空券発券時の換算率によって増減することがあります
一人部屋追加	39,000円 ※相部屋の方がいない場合も要追加費用
発着地	成田空港

▶ 利用航空会社：アエロフロート航空、フィンランド航空、コリアン・エア
▶ 利用予定ホテル：レドニツェ(ガラント)、ブルノ(ボビーセントラム/ボロネズ)、トレンチン(エリザベス)、ブラチスラバ(アウストリア/クラウンプラザ)、ハノーファー(レオナルド) ※3~4ツ星利用(バスタブのない場合もあります) ▶ 添乗員同行なし(0名)

スケジュール	食 事	宿泊地
1 成田●午前(11:30~12:30)発▶空路、欧州都市へ～▶空路ウィーンへ ●午後：オーストリア入国～陸路、専用車にて国境を越えてチェコ共和国・南モラヴィア地方のレドニツェへ	朝☒ 昼⊕ 夕⊕	レドニツェ
2 ●終日：レドニツェ・ヴァルトツェ地区の観光＝世界遺産に登録の「ヨーロッパの庭園」リヒテンシュタイン家の領地だった◎レドニツェ城、ヴァルトツェ城の地下室という歴史的空間で有名なモラヴィア・ワインの試飲、ムーア様式の●展望台ミナレット ●午後：チェコ共和国第2の都市、南モラヴィア地方の中心都市ブルノへ ●夕刻：伝統料理の夕飯	朝☒ 昼⊕ 夕⊕	ブルノ
3 ●終日：ブルノ旧市街の観光＝13世紀の城跡●シュビルベルク城、街の中心の◎レドニツェ城、ゴシック様式の尖塔が見事な11世紀からある◎聖ペテロ、聖パウロ教会、「メンデルの法則」で有名な●メンデル博物館、ブルノの街が一望できる●旧市庁舎 ※時間に余裕があれば旧市街の中心部を自由散策(お買物などをお楽しみください)	朝☒ 昼⊕ 夕⊕	ブルノ
4 ●午前：陸路、専用車にてナポレオンがロシア・オーストリア連合分を破ったことで有名な戦場跡へ(スラフコフ・ウ・ブルナ郊外) ●午後：アウステルリッツの戦いの戦場跡を見学＝◎戦場の中央部ブラツェン高地のゆるやかな丘陵へ ●夕刻：陸路、専用車でローマ帝国時の中欧最北端の軍事拠点トレンチンへ	朝☒ 昼⊕ 夕⊕	トレンチン
5 ●午前：トレンチンの観光＝中欧最大規模の●トレンチン城と眼下に広がるオレンジ屋根の街並みを眺望 ●午後：トレンチン旧市街の観光＝中世を感じさせる石畳の街並み、中心の◎ミエロヴェー広場、城壁の一部だった◎ドルナー門と◎城下町散策 ●午後：陸路、専用車にてニトラ公国～モラヴィア王国～ハンガリー王国、オスマン帝国に翻弄されたニトラへ	朝☒ 昼⊕ 夕⊕	ニトラ
6 ●午前：ニトラ観光＝美しい「スロバキアのローマ」◎旧市街、大戦の爪痕が残る◎ニトラ城、ゴルゴダの丘を再現の●嘆きのマリア教会 ●午後：ニトラ城と赤レンガ屋根がならぶ街並み眺望の観光＝オスマン朝の襲撃に備えて建てられた●ニトラ城とそこからの眺望 ●午後：陸路、専用車にてハンガリー王国の一部だったスロバキアの首都であるブラチスラバへ	朝☒ 昼⊕ 夕⊕	ブラチスラバ
7 ●午前：ブラチスラバ城と歴史博物館の観光＝「ひっくり返したテーブル」と親しまれる街の象徴●ブラチスラバ城と歴史博物館 ●午後：ブラチスラバ旧市街の観光＝ハンガリー王やマリア・テレジアの戴冠式が行われた由緒ある◎旧市街と城壁、◎ミハエル門、◎ワイン醸造博物館	朝☒ 昼⊕ 夕⊕	ブラチスラバ
8 ●早朝(06:00~08:00発)：陸路、専用車にてウィーンへ ●午前(10:00~12:00発)：▶空路、欧州都市へ ●着後、乗継手続き～ ▶空路、帰国の途へ	朝☒ 昼⊕ 夕⊕	機中
9 ●午前(08:00~12:00) 成田着	朝⊕ 昼⊕ 夕⊕	

注：☒印=食事付き、☒印=自由食、✈印=機内食、OP=オプション・ツアー
●印=入場見学、◎印=下車見学、○印=車窓見学、▶=航空機

同行講師

石川 晃弘 氏

(いしかわ あきひろ)

※現地2日目～7日目同行

●日本スロバキア協会 会長

●プロフィール

千葉県生まれ(1938年)
東京大学文学部卒業(61)
同大学大学院、
都立大学助手、中央大学文学部講師、
同大助教授～文学部教授を歴任
プレジウム大学名誉博士

●中欧に関する主な著書

- 『スロヴァキア熱』海象社2006年
- 『チェコスロヴァキアの市民生活』青木書店1977年
- 『東欧社会主義の模索と挑戦』青木書店1983年
- 『東体制移行期チェコの雇用と労働』中央大学出版部2004年(編著)

街訪問都市のご案内

▶ **レドニツェ** FRANKFURT

美しい庭園と城が世界遺産

1-2日目/1泊

●リヒテンシュタイン家の栄華を象徴

チェコ東部のモラヴィア地方南部、オーストリアとの国境近くにあるレドニツェ・ヴァルトツェ地区。この2つの町にあるレドニツェ城とヴァルトツェ城、その間に広がる庭園すべてがユネスコ世界遺産に登録。
それに加え、バロック劇場や地下ワインセラー、さらに町の教会など中世の魅力を堪能。

▶ **ブルノ** AACHEN

ユニークなチェコ第2の都

2-4日目/2連泊

●珍しい見どころ満載のモラヴィア最大の町

街は3方面から山に囲まれ、様々な丘、昔からの外郭、沢山の広場が点在する珍しい構造。
300年も建築が続き、ゴシックとバロックの様式が混在する聖ヤコブ教会、欧州で2番目の規模を誇るカタコンベ、2人の聖人の名をもつ聖ペテロ聖パウロ大聖堂など、他では味わえない見どころが満載。

▶ **トレンチン** AMSTERDAM

難攻不落の城と小さな城下町

5日目/1泊

●ローマ帝国時代の中欧最北端の軍事拠点

切り立った崖の上に立つ街の象徴トレンチン城。モンゴルが攻めてきた時も落城しなかった天然の要害は、中欧最大。
象徴トレンチン城を見上げるように、崖下にある街。城へとつながる細い石畳の路地、黄緑や薄ピンクなどのカラフルな家並み、井戸から這い出る男性像などが訪れる旅人を楽しませてくれる。

▶ **ニトラ** KRAKOW

大モラヴィア国の中心都市

6日目/1泊

●7つの丘に囲まれた「スロバキアのローマ」

9世紀初頭、スラブ人によってニトラ公国が建てられ、まもなくモラヴィア王国によって併合。
11世紀ハンガリーの支配下、17世紀に一時的にオスマン帝国領となった。第一次世界大戦を経て、チェコスロヴァキア領となり、チェコとスロヴァキアの分裂からスロヴァキア領となり、初の教会が建てられた大モラヴィア国の中心的都市。

▶ **ブラチスラバ** HANNOVER

ハンガリー王の戴冠式の地

6-7日目/2連泊

●石畳の細い小路が街を縫うスロバキアの首都

1993年にチェコと連邦制を解消、ひとつの主権国家となったスロバキアの首都。政治・文化・経済の中心であり、ドナウ川に面した中央ヨーロッパ有数の世界都市。オスマントルコに陥落以降、王位はハプスブルク家へ。260年以上の間、首都機能が移り、ハンガリー王の戴冠式が行われた由緒正しき中世の姿を残す魅惑の街。

今からちょうど100年前に、ヨーロッパ大陸のちょうど真ん中にあたる地に、チェコスロバキアという国が誕生しました。
それ以前のこの地域は長年オーストリア帝国やハンガリー王国の領土の中にあり、そこに住む人びとは独自の文化を育み、その文化に依拠して民族としての自立を築きました。そのため、この地域の英雄は軍人・武人ではなく、文人や芸術家で、国造りを担ったのはごく普通の民衆でした。
25年前(1993)にチェコスロバキアはチェコとスロバキアとに分離し、独立主権国家を形成しましたが、独立心と平和志向と民主主義の伝統は、今なお両国の人びとの日常生活に息づいていると見受けられます。
今回の旅行では、チェコの東半分を占めるモラヴィア地方の南部とスロバキアの西部地方を訪れます。南モラヴィアには今もなお、華やかな民族衣装、甘美なメロディーの民謡、軽快な民舞、郷土料理など、伝統的な土着文化が息づいています。さらに西スロバキアにかけてワイン地帯が展開し、9月には各地でワイン祭が催され、新酒や発酵酔上の甘酒を楽しめます。
西スロバキアにある首都ブラチスラバは、かつてハンガリー王の戴冠式が行われ、モーツァルトが幼少期に女帝マリア・テレジアへ御前演奏を行った歴史を持つ由緒ある地であり、街には中世を忍ばせる商店街や居酒屋なども残り、旅の情緒を誘います。
西スロバキアには古代キリスト教伝来の地ニトラや威風堂々とそびえる古城のトレンチンなど、興味ある史跡が点在します。
この旅では各地に残る史跡のほか、その地に住む人びとの文化と生活の昔と今に接し、他の国ぐにとは一味違う何かを掴んできていただけたら嬉しいと存じます。



●モラヴィア王国(833~907)

古代スラブ人の民族大移動の刺激を受け6~7世紀にゲルマン人が移動。その後西方へ拡大し、7世紀前半に最初のスラブ人国家サモが建設、続いて9世紀前半にフランク王国の東方進出に対抗し、現在のチェコ・モラヴィアに、チェック人のモラヴィア王国が建設された。
10世紀初めマジャル人に滅ぼされたが、それに先駆けて9世紀末にはベーメン王国(ボヘミア)が、その支配から離れ、プラハを中心とする国プシェミスル朝(900~1306)のもとで統一された。

●訪れる人を魅了して止まない異国情緒あふれるチェコとスロバキア

さまざまな時代の大国・権力者に翻弄された歴史をもつ、ヨーロッパの真ん中に位置する内陸国。
古代にはサモ王国(623年-658年)・モラヴィア王国として独立を保った期間もあったが、ハンガリー王国の支配下にあって、首都がブラチスラバに移された時代もある。14世紀に神聖ローマ帝国の首都として栄え、近年ではソ連の侵攻後、政治的には東欧に分類され、ヨーロッパ共産圏の消滅後、再び中欧または中東欧に分類される。
他の欧州国家と比べて、戦争の被害が少なく、現在でも沢山の古城、中世の面影を残す旧市街の街々、素朴な雰囲気がある各地の田舎町。田園風景や美しい山々、伝統工芸のボヘミアン・グラスと世界でも名高いビールなど訪れる旅人を魅了して止まない。

観 こだわり!! 南モラヴィア地方と西スロバキアの旅ならではの見学・訪問地

●《ワインの首都・レドニツェ＝ヴァルトツェ地区》へ

ボヘミアとモラヴィア・ワインが楽しめる豪華な城館ワインの貯蔵庫

2日目/レドニツェ

レドニツェ＝ヴァルトツェ地区にあるヴァルトツェ市はワインの首都と呼ばれ、豪華な城館のワイン貯蔵庫で、ワインの味見を堪能!
リヒテンシュタイン家の邸宅になっていたバロック様式の城館は、昔からワイン作りの生産地だった市の中心にあり、代々13人の公爵が増築・改築し、コレクションや豊富な調度品は、18世紀ごろにウィーンの宮廷と肩を並べるほど有名にさせた。
壮麗な名譽の中庭、とりわけ巨大な貯蔵庫は、極上のボヘミアとモラヴィアのワインの味見できる展示室兼いわゆる「チェコ共和国のワインサロン」がある。また屋外のバロック式の劇場遺跡がある広大な庭園、数百年前に作られたハーブ園も見どころの1つ。

●《アウステルリッツの戦い(1805)》の現場へ

ナポレオンのフランス軍がオーストリア・ロシア連合軍を破った戦い

4日目/スラフコフ・ウ・ブルナ

1805年12/2にオーストリア領(現チェコ領)モラヴィアにある、ブルノ近郊の町アウステルリッツ(現スラフコフ・ウ・ブルナ/ブルノより東に約23km)で勃発した戦争。
フランス軍73,000人に対してロシア・オーストリア連合軍は84,500人。この戦いにおいてナポレオンは、ロシア・オーストリア連合軍を破り、和議によってオーストリア側は領土の割譲、ロシア側は本国へ撤退。
ナポレオンが戦場として設定したアウステルリッツへ連合軍を引きずり出した点、騎兵による急襲、砲撃をうまく活用する戦術で、軍を巧みに指揮したナポレオンに、連合軍は翻弄された有名な戦い。

